

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

(1) 1年間の主な活動内容

① 近隣校との交流活動

市内の小学校や中学校との交流活動を継続して実施している。特に廊下でつながっている名木野小学校との交流は、運動会、避難訓練などの行事交流や昼休みを利用した日常的な交流に取り組んでいる。また、児童生徒の居住地校との交流も小学部を中心に盛んに行われた。

5月 : 名木野小学校との運動会 (小・中)

南中学校とのプランター交流 (中)

9月～3月 : 今町小学校、葛巻小学校との居住地校交流 (小)

居住地校の児童生徒と音楽、体育、校外学習に参加した。

10月 : 田井小学生を迎えてのハロウィン集会 (小)

12月 : 県立月ヶ岡特別支援学校との交流 (高)

② ユネスコスクール校同士の作品交流

同じくユネスコスクールに加入している、福岡県大牟田特別支援学校と児童生徒の活動の様子の写真や作品を交換し交流を行っている。

③ 障がいのある子の社会的自立を支えるためのネットワーク作り

特別支援学校の児童生徒は、卒業後自立し、地域社会で活躍することを大きな目標としている。社会自立に向けての実習の場、地域資源を利用した子どもたちの学習の場などそれぞれの活躍の場や卒業後の生活を踏まえ地域、学校、職場、福祉等と社会自立を支えるためのネットワーク作りを行っている。

6月 : 前期職場実習 (高)

: 市内特別支援学級、特別支援学校親子交流会

10月 : 障がいのある子の社会的自立を支えるためのネットワーク会議

11月 : 後期職場実習 (高)

④ 集会活動での異年齢交流

全校で行われる集会活動では、小学部から高等部まで異年齢の児童生徒と一緒に活動し、関わっている。高等部生徒を中心にリーダーとなり集会を運営していく。小学生は高等部の理想的なモデルを模倣しながら積極的に活動している。中学部高等部の生徒は小学部の生徒を助けたり頼りにされることで、自己有用感が向上している。

⑤ エコ活動の取組

ネーブル見附などで、緑の募金運動に参加し、地域の皆さんと関わりながら木の苗と花の種を配布した。また、よく利用するフラワーロード等、学校周辺でゴミ拾いを行い、身近な環境について意識付けを行った。

高等部の作業学習において、ペットボトルのエコキャップ分別、反故紙を利用した和紙づくりを行ったり、さつまいものツルをリサイクルし

てリースづくりをしたりする活動を通して、3Rを実践した。

また、市の取組の一環として、ゴーヤのグリーンカーテンを育成し、校内の気温を平均4度下げることになった。児童生徒や苗植えや水やり等、できる範囲で取り組んだ。

⑥ 防災教育について

年4回の避難訓練では、事前事後学習を子どもの実態に合わせて行うとともに、防災教室も開催した。小・中学部では、自分の身の回りの災害について知り、身を守るための方法を親子で考えること、非常食を試食することで、保存方法や保存期間を知ったり、そのほかに備えるべきものを考えたりした。高等部では、非常持ち出し袋を基に、災害時の備えについて考えた。

⑦ 見附祭りへの参加

児童生徒、保護者、教職員の希望者を募り、地元の見附祭りにおける「樽はやし」に参加した。今年度は7月25日（月）に開催され、市内各団体が参加する中、当校は総勢41名で参加した。

樽太鼓を打ち鳴らしながら、祭り囃子にのって、市の中心街を練り歩き、地域の伝統行事を体験した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）

②福岡県大牟田特別支援学校へ送った小学部児童の共同作品



③障がいのある子の社会的自立を支えるためのネットワーク会議



⑤エコ活動の取組
(リースづくり、グリーンカーテン)



⑥防災教育 (小中学部)

